滋賀県自民党政策集 2025

未来へと続く「3つの滋賀」を目指します

写真・奥琵琶湖と自転車の風景

暮らし安らぐ

心踊る

滋賀

未来へ
進む

自由民主党滋賀県支部連合会
〒520-0044　滋賀県大津市京町3-4-32　第14森田ビル
TEL.077-522-4664　FAX.077-524-6212
https://jimin-shiga.jp/

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主党

自由民主党滋賀県支部連合会

政策パンフレット　このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

政策の柱 1

暮らし安らぐ滋賀

1 災害対策の強化

自然災害から県民の生命と財産を守るため、信頼性の高い道路ネットワークの整備、河川改修、土砂災害対策、治山事業を着実に進めます。

2 物価高対策の強化

政府の物価高対策と連携し、中小･小規模事業者への融資枠拡大、地域振興、消費者還元事業への支援など、滋賀県独自の施策を強力に推進します。

▲伊吹山と避難小屋

3 医療・介護の充実

滋賀県の喫緊の課題である地域医療体制の整備、医療介護人材の確保・育成・定着を優先的に進め、安心で質の高い医療・介護サービスの提供体制を確保すると共に、障害のある方が安心して暮らせる社会の実現を目指します。

4 環境保全

琵琶湖の保全再生に向けた10年後のあるべき姿を追求し、琵琶湖を守り、活かす好循環を目指します。地域と産業の持続的発展を推進し、2050年のCO_2ネットゼロ社会の実現を目指します。伊吹山の自然環境の保全・再生に向けた事業を着実に進めていきます。

5 治安の向上

優秀な警察人材の確保、女性警察官が活躍できる職場づくり、拠点警察署の整備、地域の交番、駐在所のあり方の不断の見直し等により、警察力を最大限に発揮できる安全、安心な滋賀の暮らしを確保します。

政策の柱 2

心躍る滋賀

1 地場産品のブランド化

高品質ブランドとして定着している近江牛をはじめ、近江米「きらみずき」、近江茶、イチゴ「みおしずく」のブランド確立を進めるとともに、安定的な農業経営者の支援を図ります。

2 サイクルツーリズムの推進

新たな琵琶湖観光の柱として、ビワイチ愛好者のさらなる増加に向け、サイクルツーリズムを推進し、琵琶湖一周自転車道の整備を進めるとともに、観光資源の魅力アップにより、観光客の増加を図ります。

▲彦根総合スポーツ公園（平和堂HATOスタジアム）

3 文化・スポーツ振興

民俗文化財である各地域の祭りの承継を支援し、安土城築城450年を契機に地域イベントの活性化を推進します。
また、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の開催を契機に生まれる有形無形の価値やつながりを滋賀のレガシーとして次世代に着実に引き継ぎます。

4 デジタル化の推進

県民の安心・安全を支えるデジタル技術を最大限活用し、「誰もが幸せで便利な暮らし」の実現に向け、あらゆる分野でデジタル社会の構築を推進します。

5 琵琶湖第3大橋構想の推進

物流の東西間移動時間の短縮や観光振興の目玉として、第3の大橋を架ける可能性を積極的に検討し、滋賀の均衡ある経済発展を推進します。

政策の柱 3

未来へ進む滋賀

1 こども若者政策の充実強化

保育環境の充実を図り、保育士の処遇改善を進めることで、待機児童の解消を目指します。さらに、GIGAスクール構想を推進し、一人ひとりの児童に最適な学びの場を提供するとともに、安心で質の高い教育の推進を図ります。加えて、企業や団体との連携を強化し、若者の斬新なアイデアを地域活性化に活かすことで、若者が輝く滋賀を創ります。

2 重要インフラ整備の推進

国道1号・8号・161号バイパス、国道1号山科大津バイパス(概略ルート帯が示されている段階)、名神名阪連絡道路などの整備を促進し、すべての人が安心して利用できる道路、歩道の整備を進めます。

3 再生可能エネルギーの普及向上

自然環境を活かした水力・風力などの再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、次世代エネルギーである水素の普及を進め、水素社会の実現を目指します。

4 県内企業支援の強化と産業立地の促進

人材不足や人件費、原材料費の高騰による経営環境の悪化に対応し、県内の中小、小規模事業者のニーズに的確に応えることで、県内経済の強靭化を進めます。
また、市町と連携した用地開発を着実に進め、大型助成金制度などの活用を促進し、企業誘致や既存企業の円滑な操業支援を積極的に推進します。
奨学金返還支援制度などの活用により、産業人材の確保を図るとともに、移住・定住の促進を図ります。

5 COP 世界会議の誘致

滋賀県はCOPの世界会議誘致を目指します。琵琶湖という「母なる湖」が育む持続可能な未来に向け、MLGsの精神をCOPの場で世界へと発信し、行動へつなげます。

※MLGsとCOP誘致の関係
滋賀県はこれまで環境大臣会合や世界湖沼会議を開催し、世界に向けて琵琶湖を中心とした環境政策の重要性を発信してきました。その象徴となるのが、地域独自の持続可能な目標であるMLGs(Mother Lake Goals)です。MLGsは、琵琶湖を核とした環境と地域社会の未来を見据えた13の目標を掲げ、持続可能な発展に向けた道筋を示しています。この理念を世界に広げ、環境課題解決の場を提供するために、滋賀県はCOPの世界会議誘致を目指します。